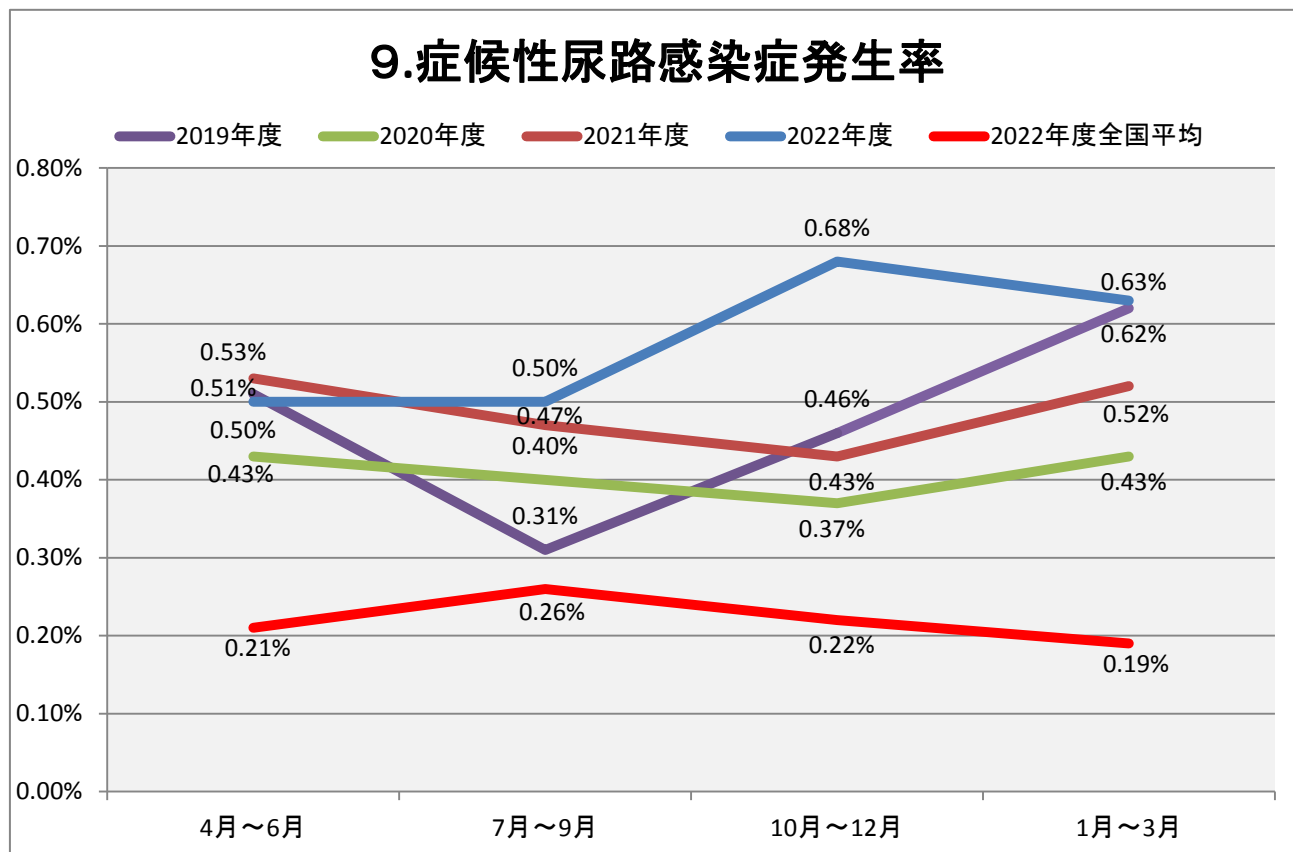


9. 症候性尿路感染症発生率

(1) 調査結果



調査期間	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
2022年度	0.50%	0.50%	0.68%	0.63%
2021年度	0.53%	0.47%	0.43%	0.52%
2020年度	0.43%	0.40%	0.37%	0.43%
2019年度	0.51%	0.31%	0.46%	0.62%
2022年度全国平均	0.21%	0.26%	0.22%	0.19%

- (2) 指標の説明
- 尿路感染症は医療関連感染の中でも最も多く、約40%を占め、その80%が尿道留置カテーテルによるもの、CAUTIです。医療機関で起こる血流感染の15%はCAUTIの合併症であると推計されており、その寄与死亡率は15%を超えます。CAUTIのリスクは医療機関、部署、患者さんの特性に左右されますが、エビデンスレベルが高い予防策の実施により、CAUTIの65%～70%は予防可能と推計されています。

- (3) 定義
- 分子: 分母のうちカテーテル関連症候性尿路感染症の定義に合致した延べ回数
 分母: 入院患者数における尿道留置カテーテル挿入延べ日数